旅行業・運輸

北陸新幹線グランクラスを再現したモックアップ

グランクラスを体験
JR西、大阪でイベント

JR西日本は、12月6日と7日に大阪ステーションシティのサウスゲートビルディング南ゲート広場で、「北陸新幹線グランクラス展示&体験」イベントを開催した。2015年3月14日の北陸新幹線金沢・富山―長野駅間開業を控え、新幹線のファーストクラスといわれる「北陸新幹線グランクラス」の魅力や座り心地などを関西地区でアピールした。関西地区でのグランクラスの展示は今回が初めて。

同時にJR3社で展開しているジャパニーズ・ビューティー・ホクリクキャンペーンをPRするイベントも旧砂時計広場で行った。

グランクラス展示・体験イベントでは、北陸新幹線グランクラスを再現した模型をはじめ、北陸新幹線開業の概要や新たな観光周遊ルートを紹介するパネルも展示した。多くの来場者がグランクラスのシートへの体験乗車を行った。

12月13日と14日には、京都駅ビル駅前広場でも同イベントを開催した。

3月14日に北陸新幹線の金沢―長野駅間が開業すると、関西地区からは富山県、新潟県、長野県へのアクセスが向上する。

JR3社、北陸キャンペーン
マスコミ向け取材会

JR東日本、JR東海、JR西日本の3社で展開している「Japanese Beauty Hokuriku（ジャパニーズ・ビューティー・ホクリク）キャンペーン」の現地取材会が、12月11日と12日に主に首都圏と関西地区の報道関係者を対象に開催された。

同キャンペーンは今回で10回目。3月14日には、いよいよ北陸新幹線金沢―長野駅間が開業する。また同キャンペーンでは、10～12月に実施される北陸デスティネーションキャンペーンと同じく、「美観」「美食」「美技」「美湯」「美心」の五つの美をテーマに北陸の魅力を提案している。

今回の取材会では美心の企画として、富山県で世界遺産の五箇山の相倉合掌造り集落で五箇山観光ガイドと歩く体験を紹介。ライトアップされた夜の金沢のひがし茶屋街を観光ボランティアガイド「まいどさん」の案内で歩く企画も提示した。

世界遺産の五箇山の合掌造り集落（富山県）

美技は、石川県の金沢市内にある金箔の老舗「かなざわカタニ」で金箔貼り体験を紹介。また、北陸新幹線の金沢駅構内やホームも公開した。

福井県では、美食として、東尋坊商店街夕なぎ本店で越前ガニの釜揚げ見学を紹介。美観は、福井県立恐竜博物館の「見どころダイノツアー」を提案した。

3月14日以降、首都圏からは、北陸新幹線利用で移動時間が短縮され、直接、富山県や石川県に訪れることができるほか、福井県観光も便利になる。関西圏からは、富山県東部へのアクセスが向上。富山県と石川県間の移動も便利になる。

船旅でマイル
JALと提携
郵船クルーズ

郵船クルーズはこのほど、2015年7月から、日本航空（JAL）とマイル提携をすると発表した。客船「飛鳥Ⅱ」に乗船するとJALマイルが貯まり、飛鳥クルーズ商品券に交換することができる。

飛鳥クルーズの旅行代金500円につき、JALマイル1㌄を乗船客に付与する。同社に直接申し込んだクルーズ商品が対象で、旅行会社経由の場合は付かない。7月17日以降に出発する上期商品の乗船分からサービスを開始する。

JALマイル1万㌄を同社が発行する飛鳥クルーズ商品券1万円相当に交換する。商品券では同社が販売するクルーズのほか、船内の飲食などにも使用できる。

「飛鳥Ⅱ」船内で
ワイファイ開始
郵船クルーズ

郵船クルーズとKDDIは12月16日、クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」でWi―Fi（ワイファイ）サービスを始めると発表した。航海中でも手軽に寄港地の情報をネットで検索できるようになる。

1月5日からサービスを開始する。船内ではコンピュータープラザなどの公共エリア、客室ではロイヤルスイートで使用できる。

希望の時間分に合わせてインターネット接続プランを選択でき、利用料金は30分千円から。ただ、ロイヤルスイート客は無料。

「コロカル」と連携
ティー・ゲート「旅の発見」でツアー

ティー・ゲートが運営するトラベルサイト「旅の発見」は12月16日から、マガジンハウスのウェブマガジン「コロカル」とシステムの提携を開始した。コロカルサイト内で紹介されたプランを旅の発見が「コロカルツアーズ」として販売。読者の「行ってみたい」という気持ちを「行ってみよう」という実行動につなげていく。

コロカルとは2012年に日本の「地域」をテーマにマガジンハウスが運営を開始したウェブマガジン。地域の文化や、デザイン、アート、ライフスタイル、食などの魅力について日々情報を発信している。また地域の雇用不足、高齢化、産業、企業の不況、観光産業の伸び悩みなどの課題についても触れ、優れた実践で課題を乗り越え、新しい生き方、働き方を見つけて暮らす人やコミュニティなどについても紹介している。

コロカルには日本全国の名所、名勝や歴史に触れるツアー、地元で丹念に栽培された農産物の収穫体験、農家民泊、染め物体験など幅広く紹介されている。記事を読んで興味を持った読者は、コロカルが厳選したツアーをコロカル内で予約することができる。

コロカルの読者はマガジンハウスの雑誌「anan」「クロワッサン」「Hanako」などの読者である、こだわりを持って生活をする20～40代の女性を想定している。

コロカルのページ

コロカルツアーズは季節によって200～300のプランをそろえるが、将来的には千プランの掲載を想定している。ティー・ゲートの橋屋哲社長は「プラン数ありきでなく、こだわりのプランをそろえていく。今後はさまざまな地域とコラボレーションを行いたい。今までとは違う、コロカル目線、マガジンハウス目線の商品を出してもらい、紹介していきたい」と意気込みを語る。

コロカル専用商品として紹介するプランについてはコロカルのニュースで取りあげられ、コロカルのフェイスブックを「いいね」としている約5万6千人に直接情報が届くことが期待される。

JTB
訪日個人向けパッケージ
JAL国内線を設定

JTBグローバルマーケティング&トラベルは12月17日、日本航空（JAL）の国内線を利用した訪日個人観光客向けパッケージツアーを発売した。これまで移動手段はバスや新幹線のみの設定だった。

訪日個人観光客向けの体験型商品「エクスペリエンスジャパン」で、120路線を超えるJALの国内線ネットワークが利用できる「JALスペシャルパッケージ」として設定した。バスや新幹線での移動では難しかった国内遠方への旅行プランも企画する。

発売商品は2月1～10日出発の羽田空港発着「さっぽろ雪まつりとたっぷり小樽3日間」や2月1日～3月11日出発の伊丹空港発着「AIR&ホテル東京2日間」など。

訪日外国人向け宿泊・ツアー予約サイト「ジャパニカン」や海外エージェントなどを通じて販売する。

アルピニストの
野口氏を講師に
JTB旅行講演会

JTB中部は、アルピニストの野口健氏を講師とした第364回「JTB旅行文化講演会」を1月18日に名古屋市で開催する。

演題は「富士山から日本を変える」。会場はウインクあいち（愛知県産業労働センター）。受講料は無料で定員は800人。

野口氏は25歳の1999年にエベレストに登頂し、7大陸最高峰世界最年少登頂記録を樹立。以降、エベレストや富士山に散乱するゴミの問題に着目し、清掃登山を行っている。

月別取扱額

JTB
国際旅行は31％増
10月

JTBグループの旅行販売会社21社による10月の取扱額は前年同月比1・1％増の1570億4100万円で、うち国内旅行は2・7％増の946億8900万円だった。海外旅行は3・5％減の521億4200万円、国際旅行は31・1％増の56億6900万円、旅行関連商品その他は4・6％減の45億4千万円となった。

国内旅行の内訳を見ると団体旅行は3・5％増。うち一般団体は「官公庁・自治体」が58・9％増、「企業」が17・9％増、「組織」が14・9％減。教育団体は5・7％減だった。

企画商品は1・5％増で、うちブランド「エース」は6・6％増。手配旅行を含む個人旅行全体では2・2％増となった。

方面別の状況を首都圏発エースの取扱人員で見ると、前年を上回ったのは23・9％増の近畿、8・5％増の沖縄、4・6％増の東北など。前年を下回ったのは、13・1％減の中国・四国、8・4％減の関東、7・0％減の中部など。

海外旅行は、団体旅行が0・7％増、企画商品が6・1％減、FITが4・6％減だった。

訪日外国人観光客向けパッケージ商品「サンライズツアー」の12月3日現在の予約状況は、人員ベースで11月が22・2％増、12月が60・0％増、1月が87・1％増といずれの月も前年を大きく上回っている。

10月までの14年度累計は取扱額が2・1％増の1兆350億7千万円だった。国内旅行は2・1％増の6121億3800万円、海外旅行が1・0％増の3586億5000万円、国際旅行が26・2％増の309億8700万円、旅行関連その他は3・8％減の333億4100万円となっている。

KNT―CTHD
国内旅行は2％増

KNT―CTホールディングスは12月11日、10月の旅行取り扱い状況を発表した。主要旅行業9社の総取扱額は、前年同期比0・5％減の514億3623万円だった。このうち国内旅行は2・2％増の334億1883万円、海外旅行は7・6％減の161億3886万円、外国人（訪日）旅行は58・7％増の11億9409万円、関連商品ほかは8・4％減の6億8446万円だった。

国内旅行の内訳は、一般団体が11・7％増、学生団体が27・4％増、団体全体で21・1％増の120億6512万円だった。企画は7・9％減の166億3017万円、個人は0・9％増の47億2354万円、クラブツーリズムは6・6％減の108億1643万円。

海外旅行の内訳は、一般団体が9・1％増、学生団体が26・5％減、団体全体で5・0％減の43億7263万円。企画は13・3％減の83億7197万円、個人は5・1％増の34億5904万円、クラブツーリズムは6・6％増の68億7447万円。

中核事業3社の状況を見ると、近畿日本ツーリストは国内団体については、一般団体は大型の大会、会議や職場旅行の取り扱いがあり、前年を大きく上回った。学生団体は堅調に取り扱いが増加し、前年を大幅に上回った結果、国内団体旅行合計で21・4％増と前年を大きく上回った。海外団体については、一般団体は大型の招待旅行や観光、親睦旅行の取り扱いがあり、前年を上回った。学生団体は昨年複数取り扱った大型修学旅行の取り扱いの反動があり前年を下回った結果、海外団体旅行合計で前年をやや下回った。

近畿日本ツーリスト個人旅行は、メイトは取扱額で前年を下回った。方面別取り扱いは、九州方面が好調を維持しており、東北・伊勢志摩を除く東海、関西、南紀方面も比較的好調に推移した。低価格帯商品のラインアップを縮小させた影響もあり、全体的に伸び悩んだ。ホリデイは引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調。各方面と低価格帯商品のラインアップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

クラブツーリズムのバス旅行を含めた国内旅行部門は、台風18号、19号によるツアー中止や御岳山噴火の影響により、前年を下回った。テーマ旅行部門も同様に、登山、ハイキング商品を中心に台風と御嶽山噴火が影響し、前年を下回った。海外旅行部門は、円安や政情不安、エボラ出血熱など、外的要因にさらされたが、アメリカ、オセアニアといった主要方面が好調を維持し前年を上回った。

トップ
総取扱額は12％増

トップツアーは12月12日、10月の販売実績を発表した。総取扱額は前年同月比12・2％増の139億9462万円だった。内訳は、国内旅行が同14・2％増の104億562万円、海外旅行が同2・5％増の29億2593万円、訪日旅行が同32・0％増の5億8492万円だった。

国内旅行は、一般団体が同5・1％増、教育団体は同32・6％の大幅増で、団体全体では同17・4％増となった。個人は企画商品が同8・8％増、企画商品を除く個人は同1・6％増と、全ての項目でプラスだった。

海外旅行は、一般団体が同18・9％増、教育旅行は同35・8％減で、団体全体は同4・9％増。個人は自社企画商品が同15・5％増だったが、他社企画商品が同17・6％減となり、企画商品全体では同16・5％減になった。その他の個人旅行は同2・9％増だった。

海外全体の取扱人員はほぼ前年並みの同0・6％増。団体は同2・7％減で、方面別では香港とグアム・サイパン、北米、大洋州、ハワイ、欧州・ロシアが前年を上回った。企画商品全体の取扱人員は同4・8％減で、シンガポールとグアム・サイパン、ハワイ、韓国、台湾が前年を上回った。

阪急
外国人は大幅増

阪急交通社が12月16日発表した10月の旅行取扱額は、前年同月比9・5％減の309億7658万円。うち、国内旅行は東北、関東、四国、九州方面が好調だったものの、その他方面が前年を下回り、12・9％減の133億4464万円にとどまった。

海外旅行は北米、香港、インドなどが前年を上回ったが、台湾やシンガポールなどその他のアジアが伸び悩み、7・2％減の174億7791万円。外国人旅行は欧米、アジア方面からの訪日旅行が伸び、47・2％増の1億9404万円と好調だった。

国内旅行は好調
阪急阪神BT

阪急阪神ビジネストラベル（BT）の10月の取扱額は前年同月比19・4％増の40億6807万円だった。国内旅行は企業の団体旅行の取り扱いが増加し、4・3％増の3億1281万円と好調に推移した。

国内旅行2ケタ増
阪神T―

阪神トラベル・インターナショナル（TI）の10月の取扱額は前年同月比14・4％増の5億1722万円だった。国内旅行は9月に引き続き団体旅行が増え、18・0％増の3693万円。

地方創生は九州の観光から

[博多]
プレジデントホテル博多
[柳川]
御花
[唐津]
唐津シーサイドホテル
[嬉野温泉]
和多屋別荘
嬉野観光ホテル大正屋
萬象閣敷島
[小浜温泉]
和のやど湯のやど春陽館
[長崎]
稲佐山観光ホテル
矢太樓・矢太樓南館
[雲仙温泉]
九州ホテル
雲仙宮崎旅館
[平戸千里ヶ浜温泉]
ホテル蘭風
[平戸温泉]
平戸海上ホテル
[熊本市]
ホテルニューオータニ熊本
[別府温泉]
ホテル白菊
おにやまホテル
悠彩の宿　望海
ホテル別府パストラル
[湯布院温泉]
由布院ことぶき花の庄
湯めぐりホテル山光園
日の春旅館
[杖立温泉]
杖立観光ホテルひぜんや
[天草松島温泉]
松島観光ホテル岬亭
[阿蘇内牧温泉]
阿蘇プラザホテル望蘇閣
阿蘇ホテル一番館・二番館
[山鹿温泉]
山鹿温泉清流荘
[人吉温泉]
清流山水花　あゆの里
[湯の児温泉]
ホテル湯の児海と夕やけ
[青島温泉]
青島グランドホテル
[鹿児島温泉]
鹿児島サンロイヤルホテル
[霧島温泉]
霧島観光ホテル
[指宿温泉]
ホテル秀水園
指宿海上ホテル
指宿シーサイドホテル
[屋久島]
田代別館
シーフォレスト

除菌装置保有バス会社
福　岡　西鉄観光バス
佐　賀　マリン観光バス
長　崎　長崎ラッキーバス
熊　本　九州産交観光
熊　本　中九州観光バス
大　分　日豊観光バス
大　分　大分交通
宮　崎　みやざき高山観光バス
鹿児島　さつま交通
鹿児島　南国交通観光
屋久島　まつばんだ交通

九観連　九州観光旅館連絡会　安心してお泊まりいただける九州・沖縄の一流ホテル・旅館の予約センター　http://www.kyu-kan.net

九観連 KYUSHU RESERVATION CENTER

本部
TEL:06-6531-7101
FAX:06-6531-7283
info@kyu-kan.com
札幌
TEL:011-242-4571
FAX:011-242-4581
sapporo@kyu-kan.com
仙台
TEL:022-266-4426
FAX:022-266-4428
sendai@kyu-kan.com
東京
TEL:03-5298-7001
FAX:03-5298-7002
tokyo@kyu-kan.com
名古屋
TEL:052-582-9131
FAX:052-583-0330
nagoya@kyu-kan.com
北陸
TEL:076-224-1801
FAX:076-222-7299
hokuriku@kyu-kan.com
大阪
TEL:06-6533-1131
FAX:06-6531-1388
osaka@kyu-kan.com
岡山
TEL:086-233-7141
FAX:086-233-7143
okayama@kyu-kan.com
広島
TEL:082-244-2841
FAX:082-244-2844
hirosima@kyu-kan.com
福岡
TEL:092-471-7854
FAX:092-471-7865
fukuoka@kyu-kan.com